

質 問 者 高 野 晃

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 原子力災害時広域避難 計画の実効性は	2月12日に行われた原子力総合防災訓練を視察しました。規模縮小、住民不参加での訓練ではありましたが、その中でも様々な疑問が生じたことから伺います。
	(1) 各避難所への移動に関して、渋滞緩和措置及び経路の周知は適切ですか。
	(2) 登米避難退域時検査場所での除染方法、所要時間、その他の問題点は。
	(3) 避難所受付ステーション（若柳総合体育館）
	に、避難退域時検査場所（登米総合体育館）を
	通過せずに避難してきた場合、検査や除染、通行証等はどう対応しますか。
	(質問の相手：町長・担当課長)

質 問 者 高 野 晃

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2 福島原発事故に真摯に向き合う原発行政を	福島第一原発事故からほぼ11年が経過し、ようやく1号機格納容器の真下で燃料デブリのようなものが映像で確認されたとの報道がありました。
	これまでに分かった事、まだ分からない事などを明らかにしながら、女川町民の安全を守る対策に生かさなければならぬと考えます。
	(1) 女川原発2号機の水素爆発対策で発生する水素の量は990kgとされていますが、その根拠は。
	(2) 女川原発2号機で発生した水素は、格納容器から1日10%、99kgしか漏洩しないことになっていますがその根拠は。
	(3) 下層階にも水素再結合容器を置くべきとの町からの提言を。
	(質問の相手：町長・担当課長)